

## 第35回 雑居まつり式クリーン反省 2010・10・30

雑居まつりを 創り上げる過程の一つに「ゴミ」への取り組みがあります。

第15回(1990年)に、実行委員会として『ゴミは出さない』ことに取り組む「ゴミ宣言」をしてから、20年目となりました。

そして、毎年、その基本姿勢に立って、雑居まつり式の方法を 各広場、各団体、そして一人一人が、実績を積み上げてきました。

2年前、東京23区が、ゴミの分別を35年ぶりに変更、また、区ごとに資源とゴミの分別基準が異なる中で、世田谷区でも 資源とゴミの新たな回収が始まりました。

そのような状況の中で、雑居まつりとしてゴミの分別をどうするか、みんなで考え、話し合いました。それは、あらためて、『ゴミは出さない』ことを確認することであり、『雑居まつりは、自分たちができることを、それぞれが行いながら作り上げるおまつり』、ということを具体化することになりました。

その年の新たな方法としては、できるかぎり「もの」を「ゴミ」にしないために、『雑居まつりとして、再使用、資源化できる「もの」は、分別回収することとなり、新たな2種類のプラスチックを分別回収しました。

昨年も「ゴミは出さない」ことを確認することからスタートし、参加団体や事務局が、『継続して再使用、資源化できる「もの」は、回収することとし、1種類のプラスチックを資源回収しています。

また、各広場や団体が、ゴミや資源に関する活動を活動の主張としてPRすることは、大歓迎という確認もしました。

そのような経過の中で、今年、雑居まつりとしては、新たな資源回収はありませんでしたが、『ゴミは出さない』ことを確認してスタートを切りました。

では、当日のクリーンに関する報告をお伝えします。(以下広場名は、略称)

### 1. ゴミ&資源の回収コーナーについて

分別種類(ゴミ×3、資源×5)、形、設置数(各広場×1、全体×3)

そして、独自のステーションを作った広場は恒例の<核戦>、箱の置き方や回収袋を工夫していた広場は<みなこい>です。

分別の徹底について

やはり効果的だったのは、分別されている状態を維持することでした。

広場で、まつり開催中に人が目配りをするのが何よりでした。おまつり開催中のクリーン当番のコスチュームが楽しかった広場は<アジアフ>です。

店頭回収について

いくつかの団体が、串やわりばし等の回収をしてくれました。今年は、びんが例年になく増加したのですが、団体が持ち込む物で、特定の物が多数出る場合は、店頭回収もしてくれると良いと思います。

団体ゴミについて

残念ですがあります。実行委員会に出ること、話し合われたことを自分の団体内に伝えること、忙しい当日、団体内で伝えることをどう徹底してゆくかが、毎年の課題です。

箱の調達について

ここ数年、事務局で全広場の量を調達することが、難しくなっています。  
来年からは、事務局の提供方法を変更しなくてはならないかもしれません。

## 2. 資源 & ゴミについて

総量は、あくまで 手作業であり、おおよその計量数です。

…( )内は、昨年。 は、区の回収外の回収です。

燃やすゴミ: 1040(675)L・58(86.6)kg

燃やさないゴミ: 45(45)L・極軽い(2)kg

ペットボトル: 385(360)L・16(11.6)kg/ペットボトルキャップ( ): 1.2(1.6)kg

アルミ缶( ): 270(365)L・16.5(16.7)kg/スチール缶: 45(80)L・3(7.3)kg

ビン: 180(45)L・22.5(4)kg

- ・ 燃やすごみが、容量は増えていますが、重さは減っています。
- ・ 燃やさないごみは、ほぼ同量。
- ・ 資源は、ペットボトルは、ほぼ同量、缶は減りますが、びんが増量。

### 3. クリーン係りについて

各広場に、朝2名、夕方4名の呼びかけをしています。係りを決められたのは、合計で朝18+ 名、夕方23+ 名でした。

事務局のクリーン係りは、最低の人数だったのですが、「大変だね」と集積場所で手を貸してくださった方もいて大変嬉しかったです。

毎年、仕事の流れを見直しているのですが、今後もよりスムーズな作業内容と手順を試行錯誤していきたいと思います。

### 4. 食器持参の呼びかけについて

チラシなどに載せてくれた広場は、<核戦、アジアフ>です。

数団体が持参した方へサービスをしてくれました(…例)大盛、おかわり自由

### 5. 食べ物の容器包装について

事務局の食器利用は、13団体(昨年9団体)、自前の食器利用が、9団体です。

昨年、使い捨て食器を使っていた団体が、今年は頑張って事務局の食器を使ってくれたり、

団体を超えて、使い捨て容器を使わないように話がかわさた広場もありました。

食べ物&容器包装の工夫をしている団体が、多数あります。

(…例)紙で折箱、紙経木、新聞紙、紙袋、紙ナプキン、紙、バーガー袋、

ミルクソーサー、竹製マドラー

ほか…自前食器の回収をデポジット方法…1団体

自前キャンプ用流し台…1団体

### 6. 喫煙メッセージ&コーナーについて

コーナーを作った広場は、<核戦、ゆかい、この指>です。

場所の調整は、しなくても広場で点在したので大丈夫でした。

事務局は、公園内にはない灰皿をまつりの広場外であえて設置する必要は無いと考えて、全体としての灰皿設置(昨年まで×3)はやめました。

「歩きタバコやポイ捨てをやめてほしいこと、喫煙者も非喫煙者もお互い気持ちよくい

たいこと」に対して「個人マナー」、そしてここ3年広場で試みている「灰皿を置くこと、喫煙場所を作ること」が、どう関わりあうのが課題だと思っています。

#### 7. クリーンパンフレットについて

実行委員会で、毎年印刷製本するのは、紙がもったいないという意見が出されました。

来年は、そのことも検討課題です。

報告としては、以上です。

そして、事前から当日まで、事務局のクリーン担当の方で、不備なこともあったことと思います。すみませんでした。

でも、今年もみんなで考え、決めて、取り組めたことが、とても嬉しいです。

このように、ひとりひとりが、団体が、広場が、できることを考え、やってみていることが、すばらしいと思っています。

今年も ありがとうございます！